



四日市の魅力発見

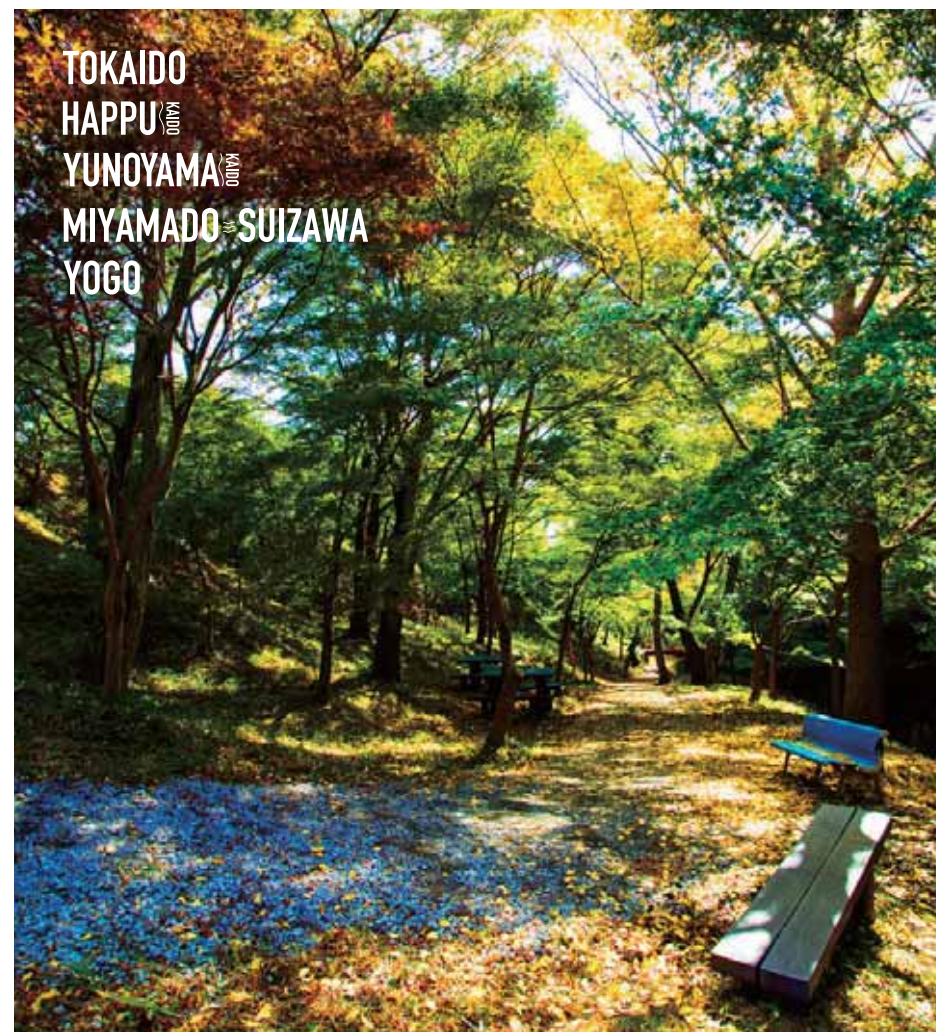


TOKAIDO
HAPPU^{KAIDO}
YUNOYAMA^{KAIDO}
MIYAMADO^{MI}SUIZAWA
YOGO

平成29年度 四日市市 地域の魅力等の情報発信に関する協働事業

四日市の道

- 食さんぽ記 -



TOKAIDO



四日市は江戸時代、京や伊勢へと向かう旅人の宿場町としてにぎわい、人や産物が行きかうことで「市」が栄え、発展しました。京や伊勢へと続く「東海道」のほかに、海から鈴鹿の山を越えて近江方面へと続く「道」もあります。各街道を女性リポーターが訪ねて、四日市の道と食文化の魅力を探ります。



Caption

- ① 諏訪神社 かつて東海道を行きかう旅人も参拝に訪れた。
- ② 日永の追分 東海道と、伊勢街道との分岐点。江戸時代には、茶店などが並び、旅人で賑わいをみせた。



人の和あり～
ざっくり並ぶ品々から漂う情緒



晴れの日の慈善橋朝市。

旬の果物、野菜、新鮮な魚、手作りのお惣菜、雑貨に衣類も。ざっくり並ぶ品々から漂う情緒。二度見するような珍商品。自家製ニンニクの黒焼き?? ミカン売るおじさんの耳に百円玉あり。笑顔でラジオ体操する人の和あり。両手にいっぱい、晩ごはんの材料。とりあえず、鱈とカブでシチューかな。葉っぱも入れちゃおう。ミカン4つもオマケしてもらっちゃった。川沿いの駐車場にてひとつむいちゃえ。あまー。



Reporter Rui

memo

- 三滝川慈善橋市場 地元の農家の新鮮な野菜、魚、干物、惣菜などが並び、2・5・7・0のつく日、7:30頃～11:00頃に開催 三重県四日市市八幡町(三滝川慈善橋付近) TEL.090-8153-1817 (四日市朝市協同組合)
- 四日市の「市」 四日市の名前の由来ともなった定期市。江戸時代、「四」のつく日に「市」が開かれたことで「四日市」という名がついた。今も、市内各地で定期市が開かれている。



1

富田一色から鈴鹿山脈を越えて
近江へと続く道

HAPPU KAIDO

魅力
発見

売りに
座敷のある
商家のつくり



3



2

江戸時代の面影を残す
八風街道の街並み

丸井屋老舗の
こし鬆いり
「和ケーキ」



2



Caption

- ①八風街道の四日市側出発地「海運橋」。伊勢湾の海産物がここから近江へと運ばれた。
- ②和菓子店「丸井屋老舗」の前の道は、かつての「八風街道」。昔はここを多くの旅人が通った。昭和3年に建てられた今の店内には、江戸時代の商家の造りがみられる。
丸井屋老舗
(三重県四日市市大矢知町1117・TEL.059-365-2792)
- ③かつては漁師のまち富田一色にある「飛鳥神社」
- ④忍藩の陳屋が置かれた大矢知にある「常夜灯」



4



ふわふわの米にもちもちの白玉...
テンションあがる〜



白玉
あんみつ



かき氷
白玉和三盆金時
みるく

街道日記 うわさのかき氷を頼張る

「待つのは覚悟で…」と
うわさの和菓子屋さんのかき氷。
ふわふわな氷の上には、
作りたてホヤホヤのあったか白玉が。
ほんのり立ち上がる湯気にテンションも上がる。
なんといっても主役は…美味しい白玉。
つやつやで、もちもちで、ほど良い弾力。
食べるというより「頼張る」という表現がぴったり。
かき氷のために作るという自家製つぶあん、
やさしい甘さの和三盆シロップは、
白玉との相性バツグン。
他にも気になる甘味メニュー、
次はどれを食べようかな…



Reporter Ken

memo

- かき氷
和三盆 (470円〜)
宇治/いちご (400円〜)
- ★白玉・金時・アイス・ミルクな
どのトッピングによって増額
写真は白玉和三盆金時みるく
(830円)
- 白玉あんみつ (570円)

亀屋佐吉
三重県四日市市大矢知町 200-8
TEL.059-365-2807



日本名水百選「智積養水」
の流れる「湯」の道

かめや製菓舗の
よもぎたっぷり!!
“草もち”

魅カ
発見



四日市旧港から湯の山へと続く

YUNOYAMA KAIDO



Caption

- ①西勝寺前を流れる智積養水(三重県四日市市智積町)
- ②かめや製菓舗(三重県四日市市智積町694・TEL.059-326-2440)
- ③国の重要文化財「潮吹き防波堤」のある四日市旧港



ああとまらない～
お酒好きにはたまらない…



街日記

記念日に、スイーツに酔う

私の記念すべき誕生日。
湯の山街道から少し左に折れた所に智積養水という鯉が泳ぐきれいなお水が流れている場所があり、その近くの酒蔵を訪れた。
今日はちょうど「酒づくりの会」の酒造り最初の段階のお米を洗うところから見る事ができ、この後にいただくとしている酒シフォンの味を想像する。
早速、酒蔵併設カフェ「わみん」で、酒シフォンを味わう。フォークでカットすると、中から日本酒がしみでるしみでる、湧き出るくらいだった。お酒好きにはたまらない大人スイーツ。この上からさらに日本酒をかけて食べると、ああ、止まらない～。

memo

- 酒シフォン
生地に山田錦の米粉、純米大吟醸の酒粕、純米酒を使用した大人スイーツ (450円)
- 地酒アイス
しぼりたて生酒が入ったアイス (300円)

伊藤酒造
三重県四日市市桜町 110 番地
TEL.059-326-2020

Reporter Yuriko





鈴鹿山脈のふもとに茶畑が広がる

1



2

海山道から四郷、水沢へと続く道

MIYAMADO ≡ SUIZAWA

魅力発見



水沢

かぶせ茶カフェ

四郷ふるさとの道 P10へ

朱色の鳥居が連なる

四郷郷土資料館



3



白い木造の洋館

4

caption

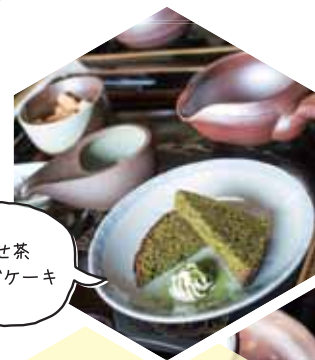
- ① 鈴鹿山脈の麓に広がる水沢地区は「かぶせ茶」の産地。(三重県四日市市水沢町)
- ② もみじ谷 鈴鹿国定公園内の紅葉の名所。(三重県四日市市水沢町山の坊)
- ③ 海山道神社 毎年節分の日には、狐の新郎新婦が境内を練り歩く厄払い行事「狐の嫁入り神事」が行われる。(三重県四日市市海山道町)
- ④ 四郷郷土資料館 大正時代(1921年)に建てられた旧四郷村役場。四日市市の有形文化財の指定を受け、四郷地域の資料館として歴史・民俗資料を展示している。(三重県四日市市西日野町)



4



茶葉の香りにつつまれた
古民家でタイムスリップ
懐かしい ゆったりとした時間～



かぶせ茶
パウンドケーキ

街日記

お茶屋さんの
カフェメニューを堪能

お店に入ると茶葉のいい香りに包まれながら築70年の古民家カフェでタイムスリップ!好きなお茶と、お茶を使ったスイーツは和・洋から選べ、この地方独特のあられにお茶をかけていただく「あられのお茶漬け」がセットになっている。店主からお茶を美味しく楽しむコツを教えてくださいながら、カフェメニューを堪能。初めて来たのに不思議と懐かしく、ここだけ特別にゆったりとした時間が流れているようで、思わず長居しそうなほどリラックス。お土産のお茶もたくさん種類があって選ぶのも楽しい。



Reporter Miho

memo

- お茶とお菓子とあられ茶漬(500円～)
好みのお茶、季節の手作スイーツ(和・洋菓子から選択)、あられのお茶漬がセット。最後に、茶葉をボン酢でいただく。

マルンゲ清水製茶
かぶせ茶カフェ
三重県四日市市水沢町 998
TEL.059-329-2611

YOKKAICHI
四日市の道
ふふよとの道
MIRYOKU KAIDO

四郷地区の名所・史跡を訪ねて
散策してみませんか！



- caption**
- ①竹林の道
 - ②春の丘 春には梅、桜、ツツジなどが咲き誇る。芝生広場、展望台などがある。
 - ③夏の広場 竹林のトンネルをぬけると芝生広場が広がる。展望台からは伊勢湾を眺望できる。
 - ④江戸時代(1858年)創業、室山の歴史と伝統を受け継ぐ神楽酒造(三重県四日市市室山町326 TEL.059-321-2205) かつての八王子線の「室山駅」の駅名標が置かれている。現在の四日市あすなろう鉄道八王子線は、かつては近鉄八王子線として、伊勢八王子駅まで通っていたが、1974年の豪雨の水害により西日野駅と伊勢八王子駅の間に廃線となった。

あとがき

四日市市では、市民活動団体と市との協働により、さまざまな事業を実施しています。この『四日市の道 食さんぽ記』は、女性の目線で捉えた四日市の魅力を、この地域の歴史を踏まえて情報発信する取り組みとして、NPO法人ワークスタイル・デザインにご提案いただいた協働の企画です。

本市は、東海道の宿場町として古くから栄えた歴史ある地域です。しかし、有名な東海道以外にもいくつもの街道が発達し、それぞれの街道沿いで独自の暮らしや文化が育まれています。この企画では、そうした「道」を切り口に、たくさんの魅力を発信しています。

この『四日市の道 食さんぽ記』をきっかけに、より多くの人が四日市を訪れ、自然や食べ物など四日市の魅力を体験していただければ幸いです。

四日市市 市民文化部 市民協働安全課



水沢地区から見た、四日市コンビナートの夜景

編集後記



水沢地区から見た、鈴鹿山脈とふもとに広がる茶畑

ふだんは何気なく歩いたり、通り過ぎたりしている道。よく知られている「東海道」のほかにも、この地に文化を伝えてきた「道」があることを知り、いつもとは違う新鮮な気持ちで訪ね歩きました。そこで発見した新しいスイーツも、何らかの伝統を受け継いで、いまのカタチに。この進化した食文化に出会った感動を、それぞれが自分のスタイルで日記につづりました。ページをめくって、スイーツが目がきづけになった皆さん、こんどは、自分の日記をつづりに出掛けてみませんか——。食べ歩きをきっかけに、四日市の伝統や文化のファンが増えれば嬉しく思います。

女性の自立・キャリア形成サポート
NPO法人 ワークスタイル・デザイン 代表 加藤 真理



表紙写真：秋には紅葉が楽しめる「もみじ谷」(三重県四日市市水沢町山の坊)

平成30年3月発行

四日市の道 - 食さんぽ記 -
平成29年度 四日市市 地域の魅力等の情報発信に関する協働事業
企画・取材・編集/NPO法人ワークスタイル・デザイン
影/あでデザイン製作所、ワークスタイル・デザイン
力/北勢地域インタープリター協会、四日市案内人協会
行/四日市市 市民文化部 市民協働安全課
三重県四日市市諏訪町1-5 (市役所5階)
☎059-354-8179

※本誌に掲載の情報は平成30年3月20日現在のものです ※金額は、消費税込みの料金です